

# 飲酒運転撲滅宣言企業 北方自動車学校



## ○ 北方自動車学校様の紹介

北方自動車学校は、これから自動車運転免許を取得しようとする人に教習を行って優良な運転者として育成するほか、高齢者講習・取消処分者講習など各種講習を行う運転者教育機関です。高校や大学などに出向いて交通安全講習会なども積極的に行っています。

企業HP :

<http://www.kitagata.jds.gr.jp/index.php>

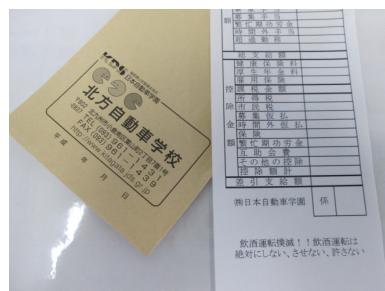


## ○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 原則として、毎月25日の飲酒運転撲滅の日には朝礼時に校長から職員に対して飲酒運転撲滅に関する講話を行っています。  
また、出勤時の飲酒運転を防止するため、毎朝、幹部立会いの下で、車で通勤する全職員を対象にアルコール検知器によるアルコールチェックを実施しています。
- ② 飲酒運転撲滅の日及び飲酒運転撲滅週間（8月25日～8月31日）は毎日、指導員全員が教習や講習時に「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」、旨の1分間指導を行っています。
- ③ 平成24年8月25日から毎日、飲酒運転撲滅を呼びかける館内放送を朝、昼、夜の3回実施しています。  
また、飲酒運転撲滅の日を中心に3日間、飲酒運転撲滅週間は毎日、福岡県警察等から配布を受けた飲酒運転撲滅に関するDVDを1階ロビーで約2時間放映しています。
- ④ 毎月飲酒運転撲滅の日を中心に3日間、卒業検定合格者全員に飲酒状態体験ゴーグルをかけて歩いてもらい、飲酒状態を疑似体験してもらっています。
- ⑤ 高校、大学等に出向き交通安全講話や飲酒状態を疑似体験してもらうほか、大型商業施設などでも飲酒状態の疑似体験をしてもらっています。
- ⑥ 平成26年1月、「STOP!! 飲酒運転」と印刷された飲料水の自動販売機1台を設置しました。  
なお、この売上の一部はNPO法人はあとスペースに寄付され、飲酒運転撲滅の活動のために使用されています。



自動販売機を設置し、飲酒運転撲滅を呼びかけています！



給与支払い明細書の下部に「飲酒運転撲滅!! 飲酒運転はしない、させない、許さない」と記載しています。

## ○ 北方自動車学校の方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 平成18年8月25日に福岡市東区海の中道大橋で飲酒運転により幼児3人が犠牲になるという悲惨な飲酒ひき逃げ死亡事故が発生し、大きな衝撃を受けました。「福岡県は飲酒運転が多く、しかも幼児が犠牲になるという最悪の死亡事故が発生するなんて恥ずかしい、何とかしなければ」と心を痛めていました。

そんな折り、平成24年度に飲酒運転撲滅宣言企業の登録制度が始まり、平成24年7月31日に登録されたことをきっかけに、本格的に飲酒運転撲滅のために取り組むようになりました。



1階ロビーでは、飲酒運転撲滅に関する交通安全教育用DVDや啓発CMを放映しています！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 飲酒運転撲滅の日や撲滅週間などの取組を通じて一人ひとりの職員に「飲酒運転は許せない。撲滅しなければいけない」という意識が非常に高まったと思います。

当校の職員でお酒を飲む人は職員の約3分1です。毎朝、職場で職員全員を対象にアルコールチェックをしていますが、飲む人は飲む量や飲む時間に気をつけるようになったと言います。

飲酒運転撲滅の日や飲酒運転撲滅週間には、指導員が飲酒運転撲滅の講話を行っています。



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転撲滅のための活動は一時的なものではなく、継続的に粘り強く行っていくことが必要です。そのため教習や交通安全講習会での講話で、飲酒運転が招く悲惨さや、自分ひとりだけでなく、多くの人の人生が狂い、不幸になることを訴えていきます。

「福岡県飲酒運転ゼロ」を目指して積極的に広報活動に取り組んでいきます。